人口減で身の丈以上の歳出が心配だ
健全財政を目指し企業誘致の積極展開

高橋松一
（令和クラブ）

高橋議員の動画はこちら

質問項目

- 所信表明演述について
- 高齢化社会への対応について
- 第六次総合計画について
- 釜石・大槌定住自立圏共生ビジョンについて
- 市財政の今後について
- まちづくりに参加する市民・住民と地域会議について

議員 **市長は所信表明演述で「市民とともに創る誇るべき郷土かまいし」を基本的な考えとしている。**

当市は人口のわりに職員数が多い。優秀な職員も多く組織の力を最大限に生かし、部制の廃止など庁内横断的な組織づくりを検討してはどうか。

市長 令和5年3月に策定した第3次釜石市人材育成計画に基づき、職員の資質向上など人材育成に係る各種施策を展開している。

また、市では部制を敷いているが、これは所掌事務や指揮系統を明確にし、迅速で適切な意思決定が可能となるなどのメリットがある反面、組織間の相互協力体制不足や連絡調整の欠如や業務の縦割りなどのデメリット発生という懸念もある。単独の部署では困難な案件は組織横断的に取り組む体制を構築し、その解決に向け議論を深め対応する。

議員 **地域会議がスタートし、間もなく大震災を体験した多くの関係者は、組織の規模や担当者の有無は大きな課題としつつも、互助・共助の地域会議の必要性を感じていた。市長の評価は。一方、地域課題の解決や地域運営で、市の方から予算がないとの声も聞く。地域会議への認識と今後の必要性は。**

市長 地域会議は地域住民の意見・要望を行政施策に反映させるために始まった。東日本大震災により、復興まちづくり協議会・地権者連絡会の上部組織として被災地域のまちづくりの方向性や安心・安全の確保など復興まちづくり事業の推進では大きな役割を担った組織だと認識している。

少子高齢化などにより担い手不足、役員の高齢化・固定化が深刻な問題となっているが、今後は各地域の状況を見極め、持続可能な組織として効率的な在り方について検討していく。

議員 **人口減で既存施設の維持管理費用が身の丈以上と感じられる。市税等の増収を図るため、企業誘致等をより積極的に進めるなど、市の収入、歳入を増やす手立ては。**

産業振興部長 持続可能なまちづくりと健全な財政運営確立を進めていくうえで、企業や事業の誘致活動は有効な手段である。当市を選んでもらうPRと企業支援を積極的に展開する。

地域会議の拠点、応援センター
（釜石地区生活応援センター）